



中学生になって

前回の2名の作文を読んでどう感じましたか。今回も2名載せます。

自分の書いた作文の内容を思い返しましょう。

大切にしていきたい事

私は、六年生の始めのころから、中学校に入った時のことを考えて、六年生の一年間を過ごしてきました。学年の先生には、「元気な子が多い」とよく言われていました。しかし、元気な力の使い方をまちがえて、静かにしないといけない場面で、うるさくしてしまい、指導されることが多々ありました。

中学校に入り、数日が過ぎ、先生に「元気だね。」と、小学校のころ同様、ほめていただきました。しかし、元気な力の使い方をまちがえることがありません。その時に思い出すのが、昔の担任の先生だった滝澤先生の、「静と動」という言葉です。中学生になり、改めて、大切な言葉だと、実感しました。

これからの中学校生活では、「静と動」という言葉を頭に入れ、先生の話を聞く時、課題をする時は静かに行う。昼休みなどは、友達と、たくさん動くなどのように生活していきたいです。

静と動と同じように、学級目標も、大切にしていきたいです。私は、あきらめない心が苦手です。一回失敗すると、すぐにあきらめてしまいます。そのため、テスト勉強などで、問題をまちがえてしまっても、何度も、挑戦したいです。

これからは、静と動を頭に入れ、何にでも、チャレンジし、何度でも挑戦したいです。

友達という存在は

中学生になって不安と喜びの気持ちがいっぱいあった。

私は引っこしてきたばかりで友達が一人もいない。知らない子ばかりでクラス発表のときも一人で見ていた。「あ、〇組か。」

ただそれだけだった。みんなは休けい時間に同じ小学校の友達と楽しく話している。すぐくうらやましかつたし、友達を早く作らないかというあせりもあった。そんな時に話しかけてくれた子がいた。

「どこの小学校からきたの？」

「名前は？」

と色々なことを話した。私はそれから自信が付き私も話しかけてみようという気持ちになった。近くの席の子に話しかけてみたり、すれ違った子に話しかけてみたりとどんどん友達を作っていく。

今では、休み時間には一緒に遊んだり休けい時間には一緒に話したりなどごく仲の良い友達ができた。友達も話しかけてくれる。

「何の部活にする？」

と話しかけてくれたり、自己紹介があつたので

「〇〇ちゃんだね？」

と名前を覚えてくれたりした。すごくうれしかった。あんなに不安な気持ちで門をくぐった私が今ではこんなに中学校生活を満きつしている。全く信じられない。

私は小学校で友達というものはすごく大切だと知った。だからこそ中学校では友達という私にとってすごく大切なものを作りたいという気持ちがあつた。まだ入学してから少ししかたっていないけど、私なら一年間絶対に楽しく過ごせると思う。

今、中学生にしかできないことはいっぱいやりたいと思う。友達は私にとってすごく大切な存在。私の中では一生忘れない存在だと思う。この楽しい時間、一秒一秒を大切にしたいと思う。